



編集発行

社会福祉法人

八戸市社会福祉事業団

〒039-1166

八戸市根城八丁目8番155号

八戸市総合福祉会館4階

電話 0178(41)1215

FAX 0178(45)1450

H P <https://www.hsfj.or.jp/>



うみねこ学園新園舎

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 組織及び事業

事務局	管理課	
	在宅サービス課	【老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・訪問入浴介護事業 居宅介護支援事業・訪問入浴サービス事業】
障害児入所施設	うみねこ学園	【短期入所事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業】
放課後等デイサービスセンター	うみねこ塾	
障害者支援施設	いちい寮	【短期入所事業・共同生活援助事業・日中一時支援事業 特定相談支援事業・障害児相談支援事業】
養護老人ホーム	長生園・長生園	老人デイサービスセンター・ケアプランセンター長生園
児童養護施設	浩々学園	
母子生活支援施設	小菊荘	

## 児童の自立に向けて

## 障害児入所施設 うみねこ学園

うみねこ学園は今年度から鮫地区の八戸高等支援学校の近くに移転改築しました。

新園舎は「小規模グループケア」に則したユニット型の施設であり、児童一人あたり約6.5畳の生活空間を確保したことにより、家庭環境に近い少人数での生活が可能となりました。また、今まで職員が行っていた洗濯や配膳、掃除等も、子どもたちが自分の将来の自立に向け、自分たちで行っています。子どもたちの中には、やり方がわからない子や、順番を待てない子もいますが、職員が手順を教え、様子を見守って、できるだけ自分でできるようにしています。さらに、順番や係活動の表を作り視覚的にわかりやすくするなどして支援をしています。

また、子どもたちがグループホーム等の生活に移行できるように、自立生活訓練室を備えています。使用した子どもからは、「静かで過ごしやすいかった」「卒業後の生活に生かせるいい経験になった」「ゲームやテレビの録画ができなくて暇だった」という意見がありました。

今後の支援のひとつとして、子どもたちの生活体験の幅を広げるため、地域活動への参加や買い物、公共交通機関の使用を企画しています。新型コロナウイルスの影響で実現できていないものもありますが、子どもたちが様々な社会経験を積むことができるように、努力していきたいと思えます。

(山内 修平)



## うみねこ塾、開設しました！

## 放課後等デイサービスセンター うみねこ塾

令和2年4月1日より、7歳～18歳までの就学児童を対象とした「放課後等デイサービスセンターうみねこ塾」が開設しました。

うみねこ塾では、学校終了後及び休業日に個々の状態や課題に合わせた個別支援計画のもと、集団指導・個別指導を行いながら支援をしています。

活動の中に選択プログラムの時間を設定しており、「体力・運動強化コース」「生活スキルコース」「学習主体コース」から選択していただき、その中で個々に合わせた活動を行っています。体力・運動強化コースでは、室内・室外の運動の他、畑での野菜作りにも挑戦中です。生活スキルコースでは、挨拶や要求の伝え方などコミュニケーション力を養うための活動として、職員とのロールプレイングやカードを使用したトレーニングを行っています。学習主体コースでは、学校の宿題をはじめ、国語や算数などのプリント学習や音読を行っています。その他の活動として、プットイン・紐通し・マッチング・清掃活動などの作業課題にも取り組んでいます。

また、活動プログラムや余暇活動が子どもたちにとって楽しく充実したものとなるように、外部講師を招き月曜日に図画教室、火曜日に書道教室、木曜日にスポーツ教室を開いています。その中で創作活動に取り組んだり、集団で思い切り体を動かしたりと、楽しく活動をしています。今後も、子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる場所であるよう、ニーズに沿ったサービス提供を考えていくとともに、家庭・地域・学校・関係機関との連携を大切にしながら、充実したサービスや支援を行っていききたいと思います。

(久慈道 夕佳)



## いちい寮女子棟改修工事

### 障害者支援施設 いちい寮

いちい寮では、入所者のプライバシーの確保や重度高齢化、障害特性の多様化に対応するため、女子棟を旧うみねこ学園男子棟へ移転する改修工事を実施しています。

改修工事の内容は、

1. 居室改修工事  
和室床組及び畳を撤去し、廊下と同じ高さのフロアリング張りとする。廊下からの出入りの段差を解消します。このことにより、重度高齢の入所者も安心して過ごせる環境を作ります。

2. 浴室・脱衣室改修工事

廊下から浴室への入口には、脱着式のスロープを設置し段差を解消します。浴室は洗い場を嵩上げて脱衣所との段差を解消し、浴室にはステンレス製の手すりを取り付け、入所者が安全かつスムーズに入浴できるようにします。

また、脱衣所内のトイレは入口を拡張しカーテンを設置し、利便性を高めます。

3. トイレ・洗面所改修工事

既存のトイレと洗面所の界壁を撤去し、床の段差をなくしてバリアフリー空間とし、車いす対応の洗面器具やトイレをはじめとした衛生器具に付け替えます。

4. プレイルーム（遊戯室）改修工事

入口にスロープを設置し、段差を解消し車いすでの行き来がしやすいアプローチを作ります。

以上4項目を実現させることにより、入所者が安全かつ安心、快適に過ごせる居住環境となります。

7月上旬から工事が始まり、10月下旬の完成を予定しています。完成後は、入所者に少しずつ環境に慣れていただけるよう配慮しながら、居室の移動を開始します。

（赤石 敬介）

## 子どもたちへの食育

### 児童養護施設 浩々学園

浩々学園では、子どもたちの

1. 最善の利益を目指します。
2. 安全で心安らげる施設環境を作ります。
3. 社会的自立を目指します。

という理念に基づき支援を行っています。中でも社会的自立については、将来自立した生活を営むことができるような行動や、通帳の作成、市役所での手続等を子どもたちと一緒に進めています。今回は、食育をテーマとして行っている行事を紹介します。

まず、チーム会食という職員と子どもたちとで料理をする行事についてです。チーム会食は、栄養面や衛生面に気を配りながら基本的な調理法について学ぶことを目的としています。



子どもたちと職員で材料や使用する器具、栄養のバランスを調べて献立を作り、年齢に合わせて役割を分担し、協力して調理をします。幼児や小学生には難しいことも、中高生が手伝いながら一緒に作業をしている姿も見られました。職員も、一緒に作業をしながら使用した食材の旬の時期や、他の調理法などを伝え、子どもたちが学ぶ機会を作っています。全員で協力して完成させた料理を食べ、後片付けまで行います。「難しかったけど楽しかったね」「次は何を作ろうかな？」という声がたくさん聞こえてきました。

他にも、調理実習や収穫祭、バレンタインチョコ作りなどの調理の機会を設けています。調理実習は、卒園を控えた児童を対象に、自立した際に自分で調理ができるようになることを目的として行っています。昨年度は、子どもたちから要望があったガパオライスとコンソメスープを作りました。収穫祭では、学園の畑で育てた野菜を使って、豚汁を作りました。

今年度は新しい行事として、夕涼み会を企画しています。子どもたちとバーベキューをするにあたり、野菜や肉を切ったり、おにぎりを作ることになっています。

子どもたちが将来自立した時に、学園で学んだ食に関する知識や技術を生かせるよう、職員全員で支えていきたいと思っています。

（堤 梓苑）



入所者との清掃活動

母子生活支援施設 小菊荘

小菊荘では、6月14日に子ども会清掃活動、続いて6月18日・19日に職員清掃活動を行いました。日頃利用している公園や施設周辺を歩いてごみを集めました。

子ども会清掃活動では、心配されていた雨も降ることはなく、天気にも恵まれた中、子どもたちは一生懸命にごみを集めてくれました。公園では、元気に走り回りたい気持ちをぐっと抑え、「ごみはごみ箱！」と言いながら頑張ってくれました。地域の方々に「ありがとう」「お疲れさま」と声をかけていただき、すがすがしい気持ちと笑顔で小菊荘へ帰ることができました。

例年であれば清掃活動後は子どもたちと会食をするのですが、今年度は新型コロナウイルス対策のため中止し、代わりにおやつを配布しました。

(関根 亜矢子)

ご寄付ありがとうございました

八戸ロータリー

クラブ様

- ・学習ボランティア
- ・花壇整備・畳の張替え
- ・エアコン

八戸赤十字病院様

- ・DVD・本・衣類



おいしい野菜作っています

養護老人ホーム 長生園  
長生園デイサービスセンター

長生園では、養護老人ホームの入所者やデイサービス利用者みなさまが、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活援助や介護、機能訓練を行うとともに、園芸作業を取り入れ、生きがいづくりや健康の維持に努めています。

園芸作業は、入所者や利用者みなさまと職員が協力して行っています。夏はキュウリ、トマト、カボチャなど、秋はさつまいも、大根、阿房宮(食用菊)のほか、小玉スイカやいちごにも挑戦しています。

園芸作業に参加しているみなさまは、「収穫の時期が待ち遠しい」「自分で育てた野菜はおいしいよね」とおしゃべりしながら、今年の収穫祭を楽しみにしているようです。



入所者と利用者みなさまが、笑顔で過ごしていただけるよう、職員一同当園の目標である「思いやりの心で、笑顔と優しさの毎日に」を心にとめ、支援を行っています。

(上野 雅子)

2年目をむかえました!

ケアプランセンター長生園

居宅介護支援事業所ケアプランセンター長生園は、長生園内に開設してから2年目となります。

当事業所は、高齢者が在宅で自立した生活を送れるよう、介護に関するさまざまな相談に応じ、介護保険を利用するために必要な手続きやサポートを行っています。

当事業所のケアマネジャーは、「フットワークの軽い、明るい事業所づくり」をモットーに、利用者みなさまに常に笑顔でかわるよう心がけています。

また、公益的な取組として、所在地である是川地区介護予防教室やおおぞら市に積極的に参加するなど、地域に根差した事業所を目指しています。

さらに、養護老人ホームおよびデイサービスセンターと連携しながら、入所者や利用者みなさまと、そのご家族の方々の意向を踏まえた、質の高いサービスを提供しています。

(上野 雅子)

「一般家庭でできる食中毒予防」

在宅サービス課

食中毒の時期は、気温が高く、細菌が増殖しやすい6月から9月頃です。食中毒の予防の三原則は、「つけない」「増やさない」「やっつける」です。「つけない」は、手や食材、調理器具に細菌をつけないことです。きちんと消毒し、清潔に保つことで、食品に細菌をつけずに調理を行うことができます。

「増やさない」は食品を冷蔵庫や冷凍庫に入れ、低温で保存することで、細菌を増やすのを防ぐことができます。また、調理をしたらすぐに食べるようにしましょう。

「やっつける」は、きちんと食品を加熱調理することや、調理器具を消毒することにより、細菌をやっつけることができます。

私たちヘルパーは、利用者宅へ訪問し、掃除や調理を行います。食中毒を防ぐためにも、訪問前後に手指消毒をしています。利用者の自宅で支援を行うため、食中毒の危険性を説明し漂白剤などを用意していただくほか、細菌を増やさないためにも、調理器具は乾燥させるように心がけています。

また、ヘルパーは利用者との会話の中で、日常生活において食中毒を予防できるように声かけをしています。今後も、利用者が在宅生活を安全に継続できる支援を行ってまいります。(下村 奈保子)

新任職員紹介



うみねこ塾 塾長  
上澤 司

趣味：仕事

4月から開設した「うみねこ塾」に就任しました。長い間教育現場で培ってきた経験を生かして、心機一転福祉サイドから子どもたちをサポートできるよう、全力を尽くします。よろしくお願いします。



長生園・デイサービスセンター・ケアプランセンター 園長兼所長  
西村 信夫

趣味：ガーデニング・熱帯魚観賞

4月より園長兼所長になりました。長生園は、国宝の合唱土偶が出土し、今年で開園68年を迎えた歴史と伝統のあるところです。

「地域とともに歩む、元気で長生き」を目標に、入所者や利用者のために、頑張っていきたいと思います。



在宅サービス課 訪問介護員  
横濱 優子

趣味：道の駅めぐり

利用者の方々をサポートのため、正しい知識が持てるよう、また、丁寧な対応ができるよう心掛けていきたいです。

よろしくお願いします。



うみねこ学園 児童指導員  
畑谷 未紗希

趣味：マンガ・アニメ観賞

子どもたちと触れ合い、先輩方と働ける御縁をいただいたこと、非常に感謝しております。

日々精進していきますので、よろしくお願いいたします。



うみねこ学園 栄養士  
田中 朋美

趣味：ショッピング

これまで臨時職員として、勤務し、今年度から正職員として採用されました。今までの経験を活かしながら、さらに頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



いちい寮 生活支援員  
高橋 大樹

趣味：サウナ・水風呂

4月より、いちい寮に配属され、生活支援員として勤務しています。

利用者様がより快適な生活を送れるように考えながら支援していきたいです。よろしくお願いします。



浩々学園 児童指導員  
新井山 智弘

趣味：ゴルフ・ソフトボール

未来ある子どもたちのために、地域社会への貢献のために、微力ながらも全力を尽くします。

大きな体と大きな心で、子どもたちの支えになれるよう頑張ります！



浩々学園 児童指導員  
森越 空

趣味：ディズニー映画を見ること

わからないことだらけですが、自分なりに精いっぱい頑張ります。

ご指導のほどよろしくお願いいたします。

# 令和元年度 決算報告

資金収支計算書 (自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計(1)	865,310,000	870,262,333	△ 4,952,333
事業活動支出計(2)	870,628,000	858,338,254	12,289,746
事業活動資金収支差異(3)	△ 5,318,000	11,924,079	△ 17,242,079
施設整備等収入計(4)	447,360,000	482,212,040	△ 34,852,040
施設整備等支出計(5)	739,805,000	690,965,015	48,839,985
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 292,445,000	△ 208,752,975	△ 83,692,025
その他の活動収入計(7)	266,633,000	266,633,000	0
その他の活動支出計(8)	41,003,000	41,000,000	3,000
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	225,630,000	225,633,000	△ 3,000
予備費支出(10)		-	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 72,133,000	28,804,104	△ 100,937,104
前期末支払資金残高(12)	396,526,000	396,528,941	△ 2,941
当期末支払資金残高(11) + (12)	324,393,000	425,333,045	△ 100,940,045

事業活動計算書 (自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計(1)	866,308,270	835,414,578	30,893,692
サービス活動費用計(2)	872,371,456	821,219,314	51,152,142
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 6,063,186	14,195,264	△ 20,258,450
サービス活動外収益計(4)	3,954,063	3,784,529	169,534
サービス活動外費用計(5)	2,379,885	1,965,673	414,212
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	1,574,178	1,818,856	△ 244,678
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 4,489,008	16,014,120	△ 20,503,128
特別収益計(8)	247,360,000	104,504,159	142,855,841
特別費用計(9)	247,320,006	104,187,361	143,132,645
特別増減差額(10) = (8) - (9)	39,994	316,798	△ 276,804
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 4,449,014	16,330,918	△ 20,779,932
前期繰越活動増減差額(12)	434,231,537	368,374,805	65,856,732
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	429,782,523	384,705,723	45,076,800
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)	266,633,000	69,548,051	197,084,949
その他の積立金積立額(16)	41,000,000	20,022,237	20,977,763
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	655,415,523	434,231,537	221,183,986

貸借対照表 令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	869,199,395	449,238,774	419,960,621	流動負債	467,812,110	75,440,095	392,372,015
				固定負債	270,000,000	70,000,000	200,000,000
固定資産	1,842,835,397	1,459,432,866	383,402,531	負債の部合計	737,812,110	145,440,095	592,372,015
				純資産の部			
基本財産	725,432,735	761,395,314	△ 35,962,579	基本金	3,000,000	3,000,000	
				国庫補助金等特別積立金	929,110,859	713,670,708	215,440,151
その他の固定資産	1,117,402,662	698,037,552	419,365,110	その他の積立金	386,696,300	612,329,300	△ 225,633,000
				次期繰越活動増減差額	655,415,523	434,231,537	221,183,986
資産の部合計	2,712,034,792	1,908,671,640	803,363,152	(うち当期活動増減差額)	△ 4,449,014	16,330,918	△ 20,779,932
				純資産の部合計	1,974,222,682	1,763,231,545	210,991,137
				負債及び純資産の部合計	2,712,034,792	1,908,671,640	803,363,152